

(仮訳)

モニタリング・ボードが国際会計基準委員会財団（IASCF）評議員会と会合

初代議長を発表

2009年4月2日 英国ロンドン - 国際会計基準委員会財団（IASCF）の公的説明責任の強化のために公的当局により設置されたモニタリング・ボードは、1日、IASCF評議員会との初会合を開催した。本会合において、参加者は、利害関係団体及び新興国市場の視点が、基準設定プロセスにおいて考慮されることを確保する観点から、基準勧告委員会（SAC）再構成の包括的議論を行なった。また、国際会計基準審議会（IASB）による金融危機への対応、及び新興国経済における国際会計基準の役割について議論が行われた。

モニタリング・ボードの現時点のメンバーは、証券監督者国際機構（IOSCO）の新興市場委員会及び同専門委員会、金融庁（JFSA）、米国証券取引委員会（SEC）である。オブザーバーとしてバーゼル銀行監督委員会（BCBS）がモニタリング・ボードに参加する。各国において国際会計基準の使用を容認又は義務化する証券当局は、モニタリング・ボードを通じ、今後、投資家保護、市場の公正性及び資本形成に関する自らの責務をより効果的に果たすことが可能となる。

その他、モニタリング・ボードのメンバーは、議長としてハンス・フーガーホースト氏を選出した。同氏は、モニタリング・ボードにおけるIOSCO専門委員会代表であり、オランダ金融市場庁長官も務めている。

フーガーホースト氏「モニタリング・ボードと、IASCF評議員会の本日の初会合に参加し、大変嬉しく思う。モニタリング・ボードを通じ、世界の証券当局は、今後、IASCF評議員会とともに、IASCFの運営、方針及び手続に関する厳格な外部からのレビューを行うと同時に、IASBによる基準設定作業の独立性を保持するための手段を得ることになる。このように、モニタリング・ボードは、IASCFが説明責任を果たす上での場を提供するとともに、証券当局がIFRSの実施に関してIASCF及びIASBに意見を述べる上での正式な手段を提供する。」

今回のIASCFとモニタリング・ボードの会合には、ハンス・フーガーホースト、ギレルモ・ラレイン（IOSCO新興市場委員会議長、チリ証券保険監督局委員長）、丸山純一（金融庁国際担当審議官）、メアリー・シヤピロ（米国証券取引委員会委員長）、チャーリー・マククリービー（欧州委員会委員）及びシルヴィ・マテラ（バーゼル銀行監督委員会代表）が参加した。

モニタリング・ボードとIASCF評議員会との覚書及びモニタリング・ボードの定款はIASBのホームページに掲載されている。

<http://go.iasb.org/Press+Releases/MonitoringBoard>